

メニューデザイン研究所と共進ペイパー&パッケージ、 デザイン・印刷事業における業務提携を締結

リソースの相互補完により、外食企業向けの高品質デザインと印刷の低価格化を実現

飲食店向け店舗デザインを行う株式会社メニューデザイン研究所（本社：大阪府中央区、代表：勝良 良太/以下MDL）は、株式会社共進ペイパー&パッケージ（本社：神戸市中央区、代表：鍛冶川 和広）と2023年1月31日に業務提携を締結いたしました。

MDLが外食企業向けに開発したデジタルソリューション「MenuExpress」の譲渡も同時に取り交わし、生産性を高めるネットワーク基盤を相互で高めます。



業務提携の背景

MDLは「世界中のお品書きを思い書きへ」をコーポレートメッセージに、これまで外食企業に特化した集客及び販促ツールのデザイン事業を展開し、「飲食店の価値創出」を実現するために従事してまいりました。共進ペイパー&パッケージは創業75周年を迎える印刷業を築き、テキスタイル、印刷紙器・段ボールケースの製造販売紙・化成品・包装資材の販売・コントラクトパッケージング業務など幅広く事業を展開しています。この度、MDLは飲食店プロモーションの可動域を広げるべく、事業提携による外食企業向けの印刷コストの削減から、グラフィックデザインに留まらぬブランディングサービスによって、価格競争に巻き込まれない利益体質を生み出せる土壌を目指します。そのため共進ペイパー&パッケージとの業務提携は、より強固なサプライチェーンとブランディングデザインの構築を可能として参ります。

これまでに共進ペイパー&パッケージとは、スマホだけでA4メニューが簡単に作れるアプリ

「MenuExpress」の印刷窓口として、サービス単体ながらも業務委託の実績があり、ビジネスパートナーとし

て良好な関係をこれまでに築いてきました。共進ペーパー&パッケージの豊富な印刷ノウハウと紙のサプライチェーンを活用し、「MenuExpress」の譲渡によって、より優れた生産性を生み出すと共に、MDL 所属デザイナーとの連携によりブランディングデザインの提案を今後予定しています。

共進ペーパー&パッケージの業務内容と強み

共進ペーパー&パッケージの祖業は「紙業」であり、「紙は神なり」ペーパーイズゴッドの精神によって、サプライチェーンにおける原材料価格低減のノウハウを提供し続けています。

Total Packaging System

ペーパー・プリンティング・パッケージを切り口に、紙に関わるサービスをトータルに捉え、企画開発から商品をお届けするまでその技術革新に取り組みます。



食品に強いパッケージ提案

パッケージの全体シェアの8割が食品関係という実績からも、食品に適した企画から製造・仕上げまでを社内一貫体制による生産が可能です。お客様がご要望する品質・コスト・納期にお応えいたします。

例) ピザのテイクアウト用パッケージも型の流用で小ロット+安価にて作成が可能

最先端デジタル技術を活かした小ロット多品種対応

印刷紙器、POP、段ボールの各事業において最先端のデジタル技術を導入。多様化するニーズに、デジタル印刷、WEB、システム開発を駆使してお応えします。



取引実績

国内の大手企業など幅広いクライアントから長年に渡りご支持いただいております。



【株式会社共進ペーパー&パッケージ 代表 鍛冶川 和広さま コメント】

この度はMDLと共に事業を展開できることを光榮に思います。事業提携によるメリットは印刷コストの低下であり、従来の外注パートナーとしてではなく、自社工場としての機能がそのままMDLのサービスとしてご利用できることから、工場原価を省いた価格での提供が可能となります。また紙媒体の中でも、パッケージの品質は他の食品メーカー様からも厚い信頼を寄せて頂いております。印刷の幅が広がることにより提案の幅も広がり、店舗のトータルプロモーションが可能となるはずです。双方のシナジーが生まれることで飲食店様の価値創出に貢献できることが今から楽しみです。共に外食業界のハピネスをつくっていきましょう。

